くまもと県民葬祭
ふれあい通信 Vol.019

2007年10月21日号　第019号

発行：くまもと県民葬祭
発行責任者：専務取締役 岩崎 寿子

ホームページ
http://www.0077-78-1059.com

お問い合わせ（通話無料）0077-78-1059

悠々倶楽部日帰りバスツアー
豪華車海老づくし料理と温泉の旅

悠々倶楽部が主催する日帰りバスツアー。第九回目となる今回は天草の姫戸、松島を訪れました。

快晴に恵まれた十月五日、朝九時に熊本交通センター前を出発、一路天草路へ進み、最初の休憩地である三角西港にてトイレ休憩。その後天草五橋を渡り一番目の目的地である姫戸町永目神社のアコウ樹を見学。

ここのアコウ樹は熊本県天然記念物に指定されていて、国内で三番目の大きさを誇るもの。参加された方はアコウの実を拾ったり、記念撮影をして楽しみました。

次の訪問地は、天草五橋が一望できるジパング天草。ここでは温泉入浴と豪華車海老づくし料理を堪能。食事の後は、悠々倶楽部主催旅行で初のカラオケタイムを設定。参加者も自慢の歌を披露され楽しいひと時を過ごしました。

ジパング天草を後にし、帰路はまず藍の天草村でトイレ休憩とお買い物、不知火町の松合食品で味噌醤油工場見学と、ショッピングを楽しみ、夕方六時出発地に無事到着しました。

参加された皆さんは、両手一杯にお土産袋を下げられてバスを下車、「春の旅行も楽しみにしています」や「本当に楽しかった」等と感想を残し家路へと向かわれました。

今年最後となる日帰りバスツアーも皆様のお陰で楽しく過ごせました。ご協力に感謝いたしますとともに来春以降のツアーも宜しくお願い申しあげます。

きれいな海を臨むジパング天草で記念撮影

素晴らしい笑顔をありがとうございます

食事の後、テーブルを囲んでハイチーズ

旅の記録DVD絶賛発売中

湯布院・天草、何れも1000円

旅の様子を収めたDVDを発売中です。参加された皆様の素晴らしい笑顔をどうぞご覧ください。ご購入を希望される方はスタッフにお問い合わせください。

生きるよろこび 悠々倶楽部 by Kenmin sousai

検証「昭君の間」秘話
連載シリーズ　熊本市壺川 三浦貴水さん

彦一：歴史のこなら勉強しとったいな。詳しかたけんね。昭君なんか？　王昭君ってどの位よか女だったな。

今から3千年以上昔の漢の時代に生まれた美人の女性たい。琵琶の勉強をして琵琶が上手、琵琶踊りの手となり皇帝の女官に登用されたったい。

昔から漢民族は、北隣の国、蒙古族から侵入されっぱなしで、戦ばかりして、苦労しとったい。何か仲良くする方法はなかろうかと思案しとる時、蒙古の皇帝の息子が嫁ば探しよる話ば聞いて女官の中から抽選で選ばした女が王昭君たい。

彦一：日本で一番よか女の代表小野小町に負けんごつよか女だったらしかおてもどの位よか女だったけん惜しかばってん「国の平和の為に嫁に行ってくれ」と頼まれて嫁に行くのが嫌で自殺しようとしたが、思い直して国の為に嫁がしたい。そうして一生を望郷の想いで暮らした女だ。

今でも彼の住民とし語り草。

高さ三十幅五十米、米の墓ば作られて感謝されとっとばい。

おてもよそのよか女ごの名前ば、清正公さんの名前とは清正公さんとこの間とか言わかる。本当の間とばっかりの間に表向き、話ば聞いて心ば打たれ、彦一：話ば聞いて何で大広間の名前に使わしたろ。

将軍の間とは次の将軍に豊臣秀頼ばの予想してのものと言われとる。

おてもよか女ごの名前は、清正公さんとこの間とは、